

様式第9号

先進医療を実施可能とする保険医療機関の要件として考えられるもの

先進医療名及び適応症：腎摘出術による病気腎（小径腎腫瘍）を用いた修復腎移植術 末期慢性腎不全	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	移植実施機関 要 （泌尿器科、移植外科又は腎臓専門診療科）・不要 腎摘実施機関 要 （泌尿器科又は腎臓専門診療科）・不要
資格	移植実施機関 要 （泌尿器科医、移植外科医又は腎臓専門医）・不要 腎摘実施機関 要 （泌尿器科医又は腎臓専門医）・不要
当該診療科の経験年数	移植実施機関 要 （10）年以上・不要 腎摘実施機関 要 （10）年以上・不要
当該技術の経験年数	移植実施機関 要 （腎移植術の経験5）年以上・不要 腎摘実施機関 要 （腎摘術の経験5）年以上・不要
当該技術の経験症例数 注1)	移植実施機関 実施者〔術者〕として（腎移植経験10）例以上・不要 〔それに加え、助手又は術者として（）例以上・ 不要 〕 腎摘実施機関 実施者〔術者〕として（腎摘出術経験5）例以上・不要 〔それに加え、助手又は術者として（）例以上・ 不要 〕
その他（上記以外の要件）	
II. 医療機関の要件	
診療科	移植実施機関 要 （泌尿器科、移植外科又は腎臓専門診療科）・不要 腎摘実施機関 要 （泌尿器科又は腎臓専門診療科）・不要
実施診療科の医師数 注2)	移植実施機関 要 ・不要 具体的内容：日本臨床腎移植学会の認定医又は、腎移植の実施者としての経験10例以上の実績を有する医師が2名以上（非常勤も可） 腎摘実施機関 要 ・不要 具体的内容：泌尿器科又は腎臓専門診療科の医師が2名以上（術者1名、助手1名）（非常勤も可）
他診療科の医師数 注2)	移植実施機関 要 ・不要 具体的な内容：内科、外科、麻酔科など3名以上（非常勤も可） 腎摘実施機関 要 ・不要 具体的な内容：内科、外科、麻酔科など3名以上（非常勤も可）

その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	移植実施機関 要 (臨床工学技士、臨床検査技師) ・不要 腎摘実施機関 要 (臨床工学技士、臨床検査技師) ・不要
病床数	移植実施機関 要 (100 床以上) ・不要 腎摘実施機関 要 (100 床以上) ・不要
看護配置	移植実施機関 要 (10 対 1 看護以上) ・不要 腎摘実施機関 要 (10 対 1 看護以上) ・不要
当直体制	移植実施機関 要 (外科系医師または内科系医師 1 名以上) ・不要 腎摘実施機関 要 (当直医師 1 名以上) ・不要
緊急手術の実施体制	移植実施機関 要(緊急手術が可能) ・不要 腎摘実施機関 要(緊急手術が可能) ・不要
院内検査 (24 時間実施体制)	移植実施機関 要 (常時可能) ・不要 腎摘実施機関 要 (常時可能) ・不要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	移植実施機関 要・不要 連携の具体的な内容： 腎摘実施機関 要・不要 連携の具体的な内容：
医療機器の保守管理体制	移植実施機関 要 ・不要 腎摘実施機関 要 ・不要
倫理審査委員会による審査体制	移植実施機関 要 ・不要 審査開催の条件： 月 1 回程度 腎摘実施機関 要 ・不要 審査開催の条件： 月 1 回程度
医療安全管理委員会の設置	移植実施機関 要 ・不要 腎摘実施機関 要 ・不要
医療機関としての当該技術の実施症例数	移植実施機関 要 (腎移植 10 症例以上かつ外科系手術年間 80 症例以上) ・不要 腎摘実施機関 要 (外科系手術年間 80 症例以上) ・不要
その他（上記以外の要件、例；遺伝カウンセリングの実施体制が必要 等）	
III. その他の要件	
頻回の実績報告	移植実施機関 要 (月間又は 症例までは、毎月報告) ・不要 腎摘実施機関 要 (月間又は 症例までは、毎月報告) ・不要
その他（上記以外の要件）	

注 1) 当該技術の経験症例数について、実施者〔術者〕としての経験症例を求める場合には、「実施者〔術者〕として () 例以上・不要」の欄を記載すること。

注 2) 医師の資格（学会専門医等）、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数○年以上の△科医師が□名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。